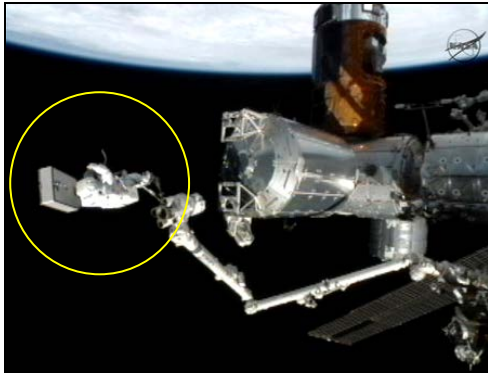
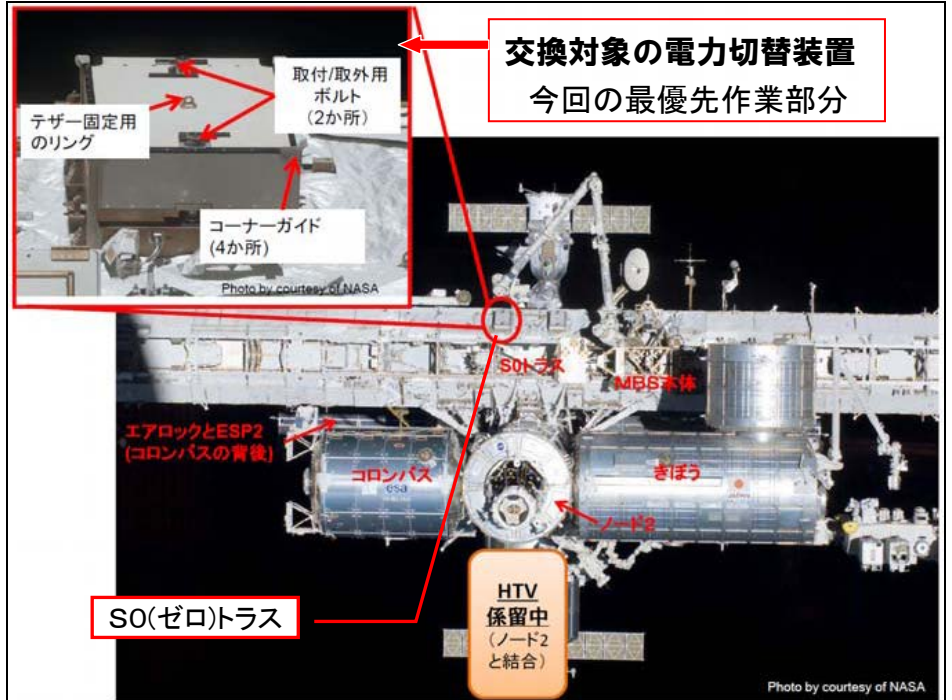


星出宇宙飛行士、 8時間超の船外活動を終了

8月31日午前5時33分(日本時間)、星出彰彦宇宙飛行士の船外活動が終了しました。



ISSのロボットアームの先端に乗って
電力切替装置を運ぶ星出宇宙飛行士
(出典: NASA)



今回の船外活動の結果は以下の通りとなりました。

- ① 電力切替装置の交換: 完了しませんでした
 - ② ISS のロボットアームのカメラ・照明装置の交換: 実施しませんでした
 - ③ ロシアの多目的研究モジュール用電源ケーブルの敷設作業: 1本のみ
- (注)いずれも電力切替装置取付ボルト問題への対応により、十分な作業時間がとれなかったため

<電力切替装置の交換作業状況>

星出宇宙飛行士が、手順書に従い、スペア品への交換を行おうとしたところ、故障した装置の取り外し及び保管場所への取り付け、スペア品の保管場所から取り外しのいずれの作業でも取付ボルトが正常に回りませんでした。地上のNASA 技術チームと連携し、電動ツールの設定を変える等により、故障品及びスペア品の取り外しは完了しました。

また、故障品の保管場所への取り付けは当面の保管に問題ない程度にボルトで固定しました。その後、スペア品を取付ける作業まで漕ぎつけましたが、その際にも取付ボルトが規定の締め付け回転数まで回らない事象が発生したため取付けを完了できませんでした。取付け作業が完了しなかったスペア品はボルトによる仮止めに加えて、テザー(固定用の紐状のもの)により近傍のハンドレールに固定し作業を終了しました。

今回の作業で発生した事象は、交換対象機器自体の問題と推定されています。

NASAは、不具合対策チームを立ち上げ、原因の調査、復旧に向けた対策検討を始めています。

船外活動時間は、予定の6時間半を約2時間超えて8時間17分となり、史上3番目の長さとなりました。

なお、2名の宇宙飛行士の健康状態に問題はないようです。

残念。装置のトラブルにも、地上含めチーム一丸となって対応したのに、船外活動での機器交換の完了は持ち越し。得られた情報をもとに、次の手をみんなで考えていく。(星出彰彦宇宙飛行士のツイッターより)



S0トラスへの電力切替装置のテザーによる固定

